

1 板書で大切にしている視点

①授業の進め方が可視化されている

授業グッズがふんだんに貼ってあり、前時の振り返りから本時のまとめまで分かりやすく示す。

②内容が全員で共有することができる

見通しの立て方、子供たちの考え方が板書してあるため、意見交流や考察がしやすい。

③本時のキーワード（重要語句）を明確にすることができる

本時で使う教科用語が掲示してあり、その内容の理解ができるようになる。

2 ノートづくりで大切にしたい視点

①自分の考えや友達の考えを書き表す。

②一時間の流れがよくわかるようにする。後で見直しができるように大切なことを書く。

③グループで出た意見、全体で出た意見もノートに書く。1時間で書いたことは、消さない。

3 板書やノートには書き方パターンがある

板書やノートには、基本的なパターンがある。学年が変わっても書き方パターンは変わらないが、ノートは、より発展したノートに変わっていく。

4 子供の思考の流れがよく分かる板書

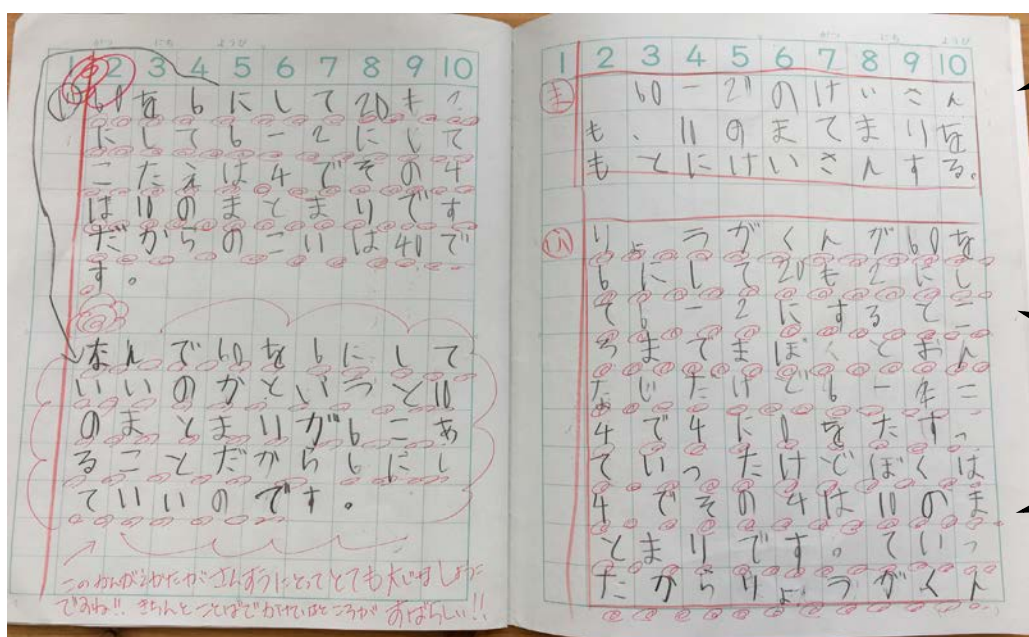


板書くグッズを貼る
授業の流れを視角化
付けるべき力の掲示

課題は赤囲み
まとめは青囲み
ネームプレート貼り

ホワイトボード貼り
見通しの具体化
算数系は3面仕切り

5 1時間の思考を整理し、事後に活用できるノート



基本見開き1ページ
課題やまとめは板書
と同じ色囲み

グッズを端に書く
友達の意見も書く
付け足しも書く

まとめは自分の言葉
振り返りは視点で
課題とまとめの整合

